令和６(2024)年９月３日

葛城市立新庄北小学校
トベラの木
学校だより　No.５
校長　中川　純一

８月６日ヒロシマ　８月９日ナガサキ
平和学習は風化させてはならない

８月２６日(月)第２学期始業式の時に、子どもたちに、１９３１年から１９４５年まで、日本は１５年間も戦争をしていたこと。そして、１９４５年８月６日に広島、８月９日に長崎に、世界で初めて戦争で核兵器である原子爆弾が落とされたことを話しました。そして、その１５年間で３１０万人以上の人のいのちが亡くなったことも伝えました。

第2学期始業式挨拶はこちら
↓
https://www.city.katsuragi.nara.jp/material/files/group/47/R6sigyousiki2.pdf

日本では７９年戦争をしていませんが、世界ではロシアのウクライナ侵攻など、戦争をしている国があることも伝え、８月２５日付の新聞記事を読みました。

一度に家族失った 戦争に疲れ果てた
ウクライナ侵攻２年半

一度に家族を失った
戦争に疲れ果てた

自宅から５分ほど自転車をこぎ、毎日、墓地へ行く。木の十字架をなで、口づけをして声をかける。
「会いに来たよ」
36歳の息子。
8歳の孫息子。
34歳の娘。
69歳の夫。
みんな死んだ。
墓には同じ命日が刻まれる。2023年10月5日。4人の命はこの日、ロシア軍のミサイルによって奪われた。「私一人だけになっちゃって」。遺影はテーブルにも、棚にも飾ってある。
・・・・

これが戦争の現実です･･･

一昔前、夏休みの８月６日あたりに全校登校日があり、広島の平和記念式典を視聴したり、全校集会で戦争で犠牲になった人たちの御霊に黙祷を捧げたりして、平和学習を行ってきました。

夏休み中の全校登校日はなくなりましたが、平和学習は風化させてはならないと思っています。広島平和記念公園にある原爆死没者慰霊碑には、

「安らかに眠ってください　過ちは繰返しませぬから」

と刻まれています。

本校では、第２学期始業式のお話で、私がヒロシマ、ナガサキ、戦争の恐ろしさ、平和の大切さ、いのちの尊さについて触れ、後日、各学級で発達段階に応じて、平和学習を行っています。また、図書室前には、戦争、平和、いのちに関わる本を展示しています。

また、昇降口前の掲示板にも、８月６日のヒロシマの新聞記事とウクライナ侵攻の新聞記事を掲示しています。

６年生は、１０月２４日(木)・２５日(金)に広島に修学旅行に行って、平和記念公園のフィールドワーク、平和記念資料館の見学をします。自分の目で見て、耳で聞いて、肌で触って、心で感じたことを全校児童に発信してくれると期待しています。

是非、この機会に、戦争の恐ろしさと平和の大切さ、いのちの尊さ、今生きていることのいのちのありがたさ、平和にするために自分は何ができるかなど、ご家庭でもお子様と一緒に考えていただけたらと思います。